

## 【そごう・西武】 世田谷立明生小学校で出張授業を実施 資源循環をテーマに「こども靴下取り」を紹介

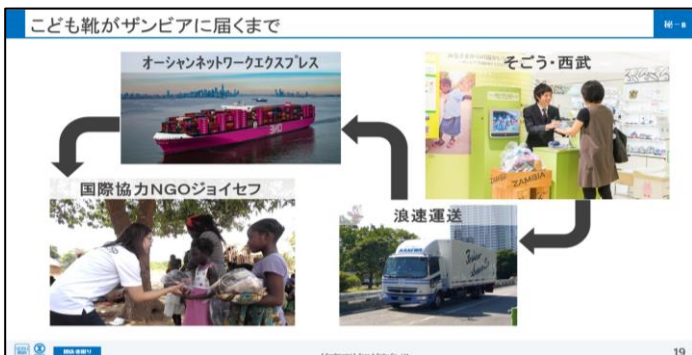
そごう・西武では1月15日(月)に、世田谷区立明生小学校4年生の児童に向けて出張授業を実施しました。資源循環をテーマにした4年生の総合学習では、児童たちが4つの班に分かれてさまざまな事例を調べ、その内のひとつとして、そごう・西武が取り組んでいる「こども靴下取り」を選定。直接児童からの依頼を受けての授業となりました。当日は、そごう・西武本部 CSV推進担当社員が学校に伺い、お客さまから履かなくなったこども靴を回収し、ザンビア共和国に送ることで、こどもたちの足を破傷風や寄生虫病から守る取り組みにつながっていることについて説明しました。授業終了後には、参加した児童が校内に呼びかけ11足の靴を回収。資源循環だけではなく、国際理解教育としても意義のある授業となりました。



質問に対して積極的に手を挙げる児童たち



回収したこども靴



お客さまからお預かりした靴は多くの人の手によってザンビアまで届き、こどもたちの命を救う活動になることを説明しました

この取組みにより、国連で定めたSDGsの目標 4 の達成に貢献します。

